

第3学年 数学科 学習案内

1. 学習目標

- (1) 数の平方根について理解し、数の概念についての理解を深める。また、目的に応じて計算したり式を変形したりする能力を伸ばすとともに、二次方程式について理解し用いる能力を培う。
- (2) 図形の相似、円周角と中心角の関係や三平方の定理について、観察、操作や実験などの活動を通して理解し、それらを図形の性質の考察や計量に用いる能力を伸ばすとともに、図形について見通しをもって論理的に考察し表現する能力を伸ばす。
- (3) 具体的な事象を調べることを通して、関数 $y = ax^2$ について理解するとともに、関数関係を見だし表現し考察する能力を伸ばす。

2. 学習計画

学期	月	学習内容	テスト計画
1 学 期	4	1章 式の計算と因数分解 1節 式の展開と因数分解	
	5	2節 式の計算の利用	1章単元テスト
	6	2章 平方根 1節 平方根	第1回到達度テスト
	7	2節 根号をふくむ計算 3節 平方根の利用	2章単元テスト
2 学 期	8	3章 二次方程式 1節 二次方程式	
	9	2節 二次方程式の利用	3章単元テスト
	10	4章 関数 $y = ax^2$ 1節 関数とグラフ 2節 関数 $y = ax^2$ の値の変化 3節 いろいろな事象と関数	第2回到達度テスト 4章単元テスト
		5章 図形と相似 1節 図形と相似	
	11	2節 平行線と線分の比 3節 相似な図形の計量 4節 相似の利用	5章単元テスト 第3回到達度テスト
12	6章 円の性質 1節 円周角と中心角 2節 円の性質の利用		
3 学 期	1	7章 三平方の定理 1節 直角三角形の3辺の関係 2節 三平方の定理の利用	6章単元テスト
	2	8章 標本調査とデータの活用 1節 標本調査	7章単元テスト 第4回到達度テスト
	3	3年間の復習	

3. 評価の観点・方法

評価の観点	評価方法
知識・技能	到達度テスト・単元テスト・小テスト・ノートの記述
思考・判断・表現	到達度テスト・単元テスト・小テスト・ノートの記述・レポート
主体的に学習に取り組む態度	単元テスト・小テスト・ノートの記述・レポート・振り返りシート

4. 学習方法・流れ

『予習（教科書を読む）⇒ 授業（課題解決・問題演習）⇒ 復習（宿題・ワーク）⇒ 小テスト』のサイクルで学習を展開する。

授業前に教科書を読み、予習をしておく。予習をした上で授業を聞いた方が、効率よく学習できる。

授業後に必ず復習する。特に授業時に理解できたことは、定着しないまま忘れる可能性がある。そのことを踏まえて、宿題やワークで問題演習をして定着させる。